

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2009-96865(P2009-96865A)

【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2007-269034(P2007-269034)

【国際特許分類】

C 08 G 59/20 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

C 08 L 63/00 (2006.01)

C 08 L 83/04 (2006.01)

C 08 G 59/62 (2006.01)

【F I】

C 08 G 59/20

C 08 K 3/00

C 08 L 63/00 C

C 08 L 83/04

C 08 G 59/62

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月13日(2010.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

本組成物には、作業性を向上させるために、溶剤を配合できる。このような溶剤としては、キシレン、メチルイソブチルケトン、ジアセトンアルコール、n-ブチルアセテート、プロピレングリコールモノメチルエーテルが挙げられる。より好ましくは、2-エトキシエチルアセテート、2-ブトキシエチルアセテート、ジエチレングリコールモノエチルエーテルアセテート、ジエチレングリコールモノブチルエーテルアセテート(=酢酸カルビトール、カルビトールアセテート)、ジエチレングリコールエチルエーテルアセテート、ジエチレングリコールブチルエーテルアセテートが例示される。このような溶剤の含有量は限定されないが、本組成物の作業性が改善されることから、(A)成分と(B)成分の合計量100質量部に対して100質量部以下であることが好ましい。